

## 共済目標を早期達成した職員に組合長賞

令和2年度における共済事業の個人目標を早期に達成した職員3人に、組合長賞が贈られました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で推進活動に制約がかかるなか、意欲的に業務に取り組み目覚ましい成果を上げたことが評価されました。

10月29日(木)にJ A秋田なまはげ会館で表彰式が行われ、9月30日(水)までに目標を達成した御野場支店の門間瑠美職員と安田朔也職員、佐野幹起職員が組合長賞を受け取りました。

J Aはこれからも感染症などへの細心の注意を払いながら、ニーズに沿った保障内容の提案や見直しを行い、利用者の皆様が安心できる生活のサポートに努めていきます。

組合長賞を受け取った職員



## 上北手小の3年生が女性部員らと豆腐作り

11月17日(火)と19日(木)、秋田市立上北手小学校で豆腐作りの体験授業が行われ、3年生の児童が大豆「リュウホウ」から豆腐を手作りしました。当J A女性部の部員らが講師を務め、大豆から豆腐を作る方法を指導しました。

同校と女性部による豆腐作りは、食育活動の一環で毎年行われています。児童は交替しながら大豆と水をミキサーにかけたり、ペースト状にした大豆を入れた鍋が焦げ付かないように懸命にかき混ぜたりしました。

漉し袋や型箱を力いっぱい押す姿も見られ、完成した豆腐を食べた児童は「豆の味が強くておいしい」と歓声を上げていました。



鍋をかき混ぜる児童

## NEWS & TOPICS

## 男鹿地区営農フェア



1



2

- 1 令和3年度に使う資材や営農計画を相談しました
- 2 菊の展示コーナー
- 3 多彩な農業機械を見る生産者
- 4 メーカー3社によるGPS付き田植え機の実演



3



4

11月5日(木)から7日(土)の3日間、男鹿市と潟上市天王地区の生産者を対象に、男鹿地区営農フェアが男鹿地区営農センターで開催されました。営農経済部の職員が今年度の栽培経過や来年度の作付け予定を生産者から聞き取り、肥料や農薬、生産資材などの予約注文を受け付けました。3日間の予約注文額は2億237万円に上りました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域ごとに日時を区切って注文を受け付けました。職員は来年度に使用する資材を生産者に聞きながら「今年この農薬を使用してどうでしたか」「困っていることはありませんか」などと問いかけ、対応策を提案しました。会場内には「秋系821」や振興作物の紹介、菊の展示コーナーなども設けられました。

払戸農機センターでは最新型の農業機械が展示されたほか、5日(木)には安全講習会やメーカー3社によるGPSを活用した田植え機の実演も行われました。